

警察署協議会議事録

協議会名	令和5年第2回宮城県大河原警察署協議会
開催日時	令和5年7月20日（木） 午後2時00分から 午後3時00分まで
開催場所	大河原警察署署長室
出席者等	1 協議会委員 國分英敏会長、木幡信子副会長、村上弘毅委員、渡邊一郎委員 佐々木由美子委員、丹羽幸子委員、藤原義信委員  2 警察署側 署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長 刑事課長、交通課長、警備課課長代理、警務係長
議事概要	別紙のとおり
備考	

議事概要	<p>1 報告事項</p> <p>大河原警察署管内の治安情勢について（令和5年上半期）</p> <p>(1) 刑法犯認知件数（令和5年6月末現在）</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>発生件数</td> <td style="text-align: right;">202件（前年比+60件）</td> </tr> <tr> <td>検挙件数</td> <td style="text-align: right;">52件（前年比+12件）</td> </tr> </table> <p>また、本年4月17日柴田町西船迫地内において男性被害の殺人事件が発生したことから、発生翌日に当署に捜査本部を設置し、現在も全力を挙げて早期被疑者検挙に向けて捜査を強力に推進している。</p> <p>(2) 特殊詐欺発生状況（令和5年6月末現在）</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>発生件数</td> <td style="text-align: right;">7件（前年比+3件）</td> </tr> <tr> <td>架空料金請求詐欺</td> <td style="text-align: right;">6件（前年比+2件）</td> </tr> <tr> <td>融資保証金詐欺</td> <td style="text-align: right;">1件（前年比+1件）</td> </tr> <tr> <td>被害金額</td> <td style="text-align: right;">311万5,000円（前年比+250万8,000円）</td> </tr> </table> <p>(3) 子ども・女性脅威事案（令和5年6月末現在）</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>発生件数</td> <td style="text-align: right;">21件（前年比+7件）</td> </tr> <tr> <td>声かけ事案発生件数</td> <td style="text-align: right;">4件（前年比+4件）</td> </tr> </table> <p>(4) 交通事故発生状況</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>人身事故</td> <td style="text-align: right;">90件（前年比+23件）</td> </tr> <tr> <td>死者数</td> <td style="text-align: right;">2名（前年比+2名）</td> </tr> <tr> <td>負傷者数</td> <td style="text-align: right;">115名（前年比+30名）</td> </tr> <tr> <td>物件事故</td> <td style="text-align: right;">833件（前年比+18件）</td> </tr> </table> <p>2 協議事項（意見要望等）</p> <p><b>【委員】</b></p> <p>マルチ商法（FX）による金銭被害に関する効果的防止策を教えてください。</p> <p><b>【生活安全課長】</b></p> <p>即時、効果的な防止策はないため、早めに警察に相談することが重要と考える。</p> <p>このFX取引をかたったトラブルは、SNS上での成功体験や友達からの勧誘が多いが、金融取引で必ず儲かることはありえないため、何か少しでも疑問を抱くことがあれば警察等へ相談してほしい。</p> <p>利殖勧誘事犯防止のため、警察では積極的な取締りのほか、広報活動などの諸対策を推進している。</p>	発生件数	202件（前年比+60件）	検挙件数	52件（前年比+12件）	発生件数	7件（前年比+3件）	架空料金請求詐欺	6件（前年比+2件）	融資保証金詐欺	1件（前年比+1件）	被害金額	311万5,000円（前年比+250万8,000円）	発生件数	21件（前年比+7件）	声かけ事案発生件数	4件（前年比+4件）	人身事故	90件（前年比+23件）	死者数	2名（前年比+2名）	負傷者数	115名（前年比+30名）	物件事故	833件（前年比+18件）
発生件数	202件（前年比+60件）																								
検挙件数	52件（前年比+12件）																								
発生件数	7件（前年比+3件）																								
架空料金請求詐欺	6件（前年比+2件）																								
融資保証金詐欺	1件（前年比+1件）																								
被害金額	311万5,000円（前年比+250万8,000円）																								
発生件数	21件（前年比+7件）																								
声かけ事案発生件数	4件（前年比+4件）																								
人身事故	90件（前年比+23件）																								
死者数	2名（前年比+2名）																								
負傷者数	115名（前年比+30名）																								
物件事故	833件（前年比+18件）																								

**【委員】**

長野県発生 of 警察官等殺害事件を受けて、猟銃等の所持に関して追加で対策していることはあるのか。

**【生活安全課長】**

警察では銃砲所持者の適正を図るため、更新許可申請者を対象とした経験者講習時の指導、申請者の同居家族からの聞き取り等を実施し、不適格者を排除している。

銃砲は、必要性和適格性があつて所持許可が認められるものであり、今後も適正な銃砲の所持許可に努めていく。

**【委員】**

学生を中心に人の流れが活発化しており、自転車通学の再教育の機会と再啓発のために、管内での注意喚起を行つてほしい。若年層に対する「自転車の乗り方とヘルメット着用」が課題だと思う。

今が良い機会であることから、厳しく取り締まってほしい。

**【交通課長】**

交通安全講話の実施、パトカーによる警戒活動、悪質な違反者に対する警告等の措置を講じて事故防止を図っていく。

本年4月の道路交通法改正により、自転車乗車時のヘルメット着用が努力義務化されているが、定着していないのが現状であり、関係団体等とともに自転車の安全利用広報を行っていく。

**【委員】**

高齢ドライバーの免許更新は、違反歴にかかわらず、毎年行つたり、技能検査を義務化してはどうか。

**【交通課長】**

更新期間の変更や技能検査の義務化は困難であるが、令和4年5月改正の道路交通法により、高齢者の運転免許更新は厳格になっている。

周囲に、免許所持に不安がある方や認知症の疑いがある方がいれば、警察署または運転免許センターに連絡・相談してほしい。

**【委員】**

平成31年4月改正の道路運送車両法により、トラクターを

公道で走らせるために大型特殊免許、けん引免許等が必要となったが、無免許での作業者を確認したことがあるか。

**【交通課長】**

取締り件数は公表していないが、大型特殊免許が必要な車体かどうか、問い合わせがあればその都度回答し、適法な公道走行をお願いしている。

**【委員】**

県内の学生を中心に、マルチ商法が流行っているようだが、取締りは難しいのか。

**【署長】**

被害相談を受けて、すぐに事件化することは難しい。  
出資法違反に抵触する場合もあり、SNS上でのやり取りも捜査が必要になることから、証拠保全と早期の相談を周知していく。

**【委員】**

自転車が「軽車両」であるという認識が薄いと感じる。歩車分離式信号機での走行方法やイヤホン装着者への指導等、小学校や若年層への教育をお願いしたい。

**【交通課長】**

小学校への指導は、交番・駐在所員や町の交通指導隊が担当しており、今後も継続的な指導を行っていく。  
高校生では、イヤホン装着者のほかに、携帯電話を見ながら自転車に乗る者も多い。  
高校の交通安全担当者に対する指導依頼や、校内での交通安全教室を通じて、ながら運転の危険性を引き続き説いていく。

3 次回の開催予定

次回協議会は、令和5年10月に開催予定